

授業科目	看護学研究2	4 学年・後期・3 単位 (90 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	木島輝美 (保健医療学部研究棟 E110 号) e-mail : yterumi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	看護学科全教員		
概要	看護学研究1で作成した研究計画書に沿って看護を系統的に探求するプロセスに主体的に取り組む。具体的には、自ら選択したテーマにおける研究計画書に沿ってデータ収集・分析を行い、結果及び考察を行い、一連の過程を論文としてまとめる。これらの研究過程の実践を通して、批判的な思考能力、論理的な表現能力、及び研究者に求められる倫理的態度を学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究計画書に基づき、データ収集及び分析できる。</li> <li>2. 結果を論述し、客観的に考察できる。</li> <li>3. 研究過程の実践を通して、研究者に求められる倫理的配慮を説明できる。</li> <li>4. 一連の研究過程を研究的な思考・表現にもとづき発表できる。</li> <li>5. 一連の研究過程を研究的な思考・表現にもとづき研究論文の構成に則って記述できる。</li> </ol>		
関連科目	看護倫理、看護学セミナー、看護学研究1		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	到達目標の達成度	60%	研究発表(20%)と研究論文(80%)の両方を完了したものを評価対象とする。 到達目標の達成度は研究発表と提出論文の内容より評価する。 学習態度は主体的・協働的・誠実・継続的・倫理的学習の度合いを評価する。
	学習態度	40%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学研究1を履修していることが望ましい。</li> <li>・看護学研究1と同じ教員が担当する。</li> <li>・実習科目と重複する期間は実習を優先すること。</li> </ul>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	演習	各担当教員
2	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
3	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
4	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
5	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
6	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
7	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
8	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃



32	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
33	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
34	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
35	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
36	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
37	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
38	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
39	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
40	各自の研究計画書に沿った実施、論文作成	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
41	抄録の書き方 研究発表の形式 効果的なプレゼンテーションの方法	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
42	抄録の書き方 研究発表の形式 効果的なプレゼンテーションの方法	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
43	研究成果を発表と質疑応答 研究論文の提出	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
44	研究成果を発表と質疑応答 研究論文の提出	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃
45	研究成果を発表と質疑応答 研究論文の提出	担当教員と適宜話し合いながら学習を進める	〃	〃